平成 30 年度 東海・北陸社会教育研究大会で発表してきたこと

平成３０年１１月２０日
第４回社会教育委員会定例会にて

第５分科会「社会教育委員の役割と課題」

瑞浪市社会教育委員の会
「社会教育委員の役割と課題」～公民館の実態把握から地域課題の解決策を考える～

１　はじめに　～瑞浪市の概要～

２　瑞浪市教育振興基本計画～みずなみ教育プラン～基本目標
・「夢」「生きがい」「誇り」を感じる「瑞浪の教育」を推進

３　瑞浪市社会教育委員の職務（社会教育法第１７条）

４　昨年度までの取り組み
（１）　方針
・地域社会の声を行政に反映→地域課題を解決

（２）　方法
・地域社会の声を「公民館の取組と住民の姿」で把握
・公民館活動に着目し調査研究

（３）　成果
① 報告書の完成
・「見て、来て、体験して！！」～地域の特色を活かした公民館活動～

② 報告書への反応
・公民館職員から嬉しい声
・社会教育委員から「次年度の活動に成果と課題を確実に引き継ぐ」
・市教育長から「報告書を活かしてほしい。」

5　報告書の中身の紹介（抜粋）

（1）　各公民館の特徴的な取組（３観点から）

・目標、着眼点、方策

（2）　見えた共通点（３観点から・社会教育の特徴から・総じて）

・目標―多様な世代に学びを、世代間の繋がりを。

・着眼点―子どもは、世代を結ぶかすがい、地域の宝。

・方策―講座や事業の内容を吟味、情報発信手段の工夫。

・実態―公民館活動の充実

～「もっと知ろう！社会教育委員 H28 岐阜県社会教育委員の会発行」の観点から～

①柔軟に学習内容を編成
②多様な人々が対象
③学びが深まると共に地域の絆が深まる
} どの公民館でも推進

（3）　社会教育委員が果たした役割

・６つの公民館をつなげる

・見学と協議により実態を把握する

・共通の成果と課題を整理し冊子にまとめる　（見える化）

・館長会や担当者会での活用を働きかける

（4）　さらなる役割遂行のために

・委員の選出方法の見直し提案

・２年任期（再任あり）

・７回の会議（定例会６回、臨時会１回）

6　平成３０・３１年度の取組

（1）地域課題→テーマ

地域・家庭・学校の協働による地域づくりの取り組み

～公民館活動を通して～

（2）研修重視の今年度（進捗状況）

～年間計画は別紙参照～

（3）今後の方向（方針と役割）

①　地域と学校の連携を

②　子ども育てとまちづくりをつなげて

③　携わることが、学びの喜び・向上につながる**→生涯学習の推進**